



園芸

Point

菊のお彼岸出荷に向けて 病害虫防除を徹底しましょう

今月
営
ポイ



男鹿地区営農センター 主査 武田 恒悦

病害虫防除

●ダニ対策

乾燥が強くなると発生しやすくなります。また、薬剤耐性がつかないように、単剤散布をお願いします。

薬剤名	倍率	使用回数	備考
バロックフロアブル	2,000倍	1回	殺卵
ニッソラン水和剤	2,000~3,000倍	2回	殺卵・殺虫
スターマイトフロアブル	2,000倍	1回	殺卵・殺虫

●アブラムシ対策

花芽分化時期に発生し増殖します。蔓延するとウイルス病なども媒介するため、特に注意が必要です。なお施設内や周辺の雑草が発生源となるため、こまめに草刈りや除草を行いましょう。

薬剤名	倍率	使用回数
ジェイエース水溶剤	1,000~1,500倍	5回
モスピラン顆粒水溶剤	2,000~4,000倍	5回
コルト顆粒水和剤	4,000倍	4回

●ヨトウムシ(シンクイムシ)対策

蕾を食害し、出荷本数にも影響を及ぼすため確実に防除しましょう。圃場で卵を見つけ次第、葉ごと除去してください。また、農薬による防除も効果が期待できますが、幼虫は葉裏にいるため表面に散布しただけでは効果がありません。散布する際は葉の裏側まで薬剤が十分かかるように、丁寧に行ってください。

薬剤名	倍率	使用回数
アフーム乳剤	1,000倍	5回
プロフレアSC	2,000~4,000倍	3回
フェニックス顆粒水和剤	2,000倍	4回

●アザミウマ(スリップス)対策

食害されると葉がケロイドのようになり、花弁につくと褐変または退色などの原因となるため、防除を徹底しましょう。

薬剤名	倍率	使用回数
アーデント水和剤	1,000倍	5回
カウンター乳剤	2,000倍	5回
ファインセーブフロアブル	2,000倍	2回

薬剤散布の注意点

- ・ 薬害の発生を防ぐため、涼しい時間帯(早朝または夕方)に散布しましょう。
- ・ 病害虫の薬剤耐性がつかないように、系統を考えてローテーションを行いましょう。

収穫・箱詰め作業

- ・ 忙しい時期ですが、水揚げ作業をしっかりと行いましょう。
- ・ ムレないように、水滴などをしっかり落としてから箱詰め作業をしてください。

